

可能性無限の「膜」が
新たな建物を生む



山口産業 株式会社

代表取締役

山口 篤樹 (61)

Atsuki Yamaguchi

PROFILE

佐賀県出身。1987年6月、山口産業(株)に入り、1992年9月、取締役就任。1995年8月、代表取締役社長に就任し、今日に至る。

オリジナルの膜材で
スタジアムから畜舎まで

当社は1972年にテントシートの縫製工場として創業し、素材の開発・改良・施工に力を注いできました。今、テントはそのイメージを一新して「膜構造物」として注目を集め、当社の製品はオリジナルの膜材「メンブリー」をはじめ、建材・壁材の一つとして駅舎やスタジアム、公共施設、産業用倉庫などで活用されています。

膜構造物の利点は、一般の建築物に比べて納期が短く、低コストであること。採光性に優れ、自由に形を変えられるためデザイン



性の高い建築物を作ることができます。大阪のあべのハルカス周辺のビルをつなぐ歩道の屋根は当社が手掛けたもので、上から見下ろすとaの字になる美しいデザインが評判を呼んでいます。また、博多港国際ターミナルに施工した大型クルーズ船の船客収容施設は、他の寄港地から視察が相次ぎ、多くの引き合いがありました。

近頃は畜舎に力を入れており、耐久性が高く、コストを抑えられるとお客様に好評です。岩手や兵庫、熊本で実績があり、今後は畜産の盛んな北海道まで市場を広げ、シェアを拡大していきたいと考えています。昨年はコロナ禍において、空気を入れて約10分で完成する「メンブリーシェルター」がPCR検査等の待合スペースとして医療用に活用され、可能性の広がりを実感しています。

拠点の広がりで
キャリアアップが実現

当社は佐賀県を拠点に東京、北関東(茨城)、仙台、福岡、北九州、名古屋、大阪に営業所を開設し、佐賀と北関東に工場を構えています。開発から設計、製造、販売まで一貫して自社で行っており、それに基づく豊富な実績と確かな技術、フットワークの軽さが強みです。今後、北海道で畜舎の建設が増えていけば、近くに拠点や工場が必要となるでしょう。近年は瀬戸内海地域での相談も増えていきますし、沖縄や宮古島でリゾート用の製品を展開しています。そうならば中国地方や沖縄にも営業所が必要です。また、昨年は本社にシステムハウス事業部と運送事業部を新設しました。お客様のご要望に応じていく形で当社の規模も大きくなっています。

そこで急がれるのが社員及びリーダーの育成です。現在、社員は120名ほどに増え、若い人たちが入社しています。お客様のご要望に「できない」と答えず、果敢にチャレンジする若い力を頼もしく思い、彼らをしっかり育てていきたいと思っています。私が社員

に求めることは「明るさ・元気・素直さ」です。笑顔があって元気に挨拶出来る人はお客様や取引先から可愛がられ、それが業績に結びついていきます。また素直さは自身の成長に欠かせないものです。

営業所や事業部が増えていけばポストも増え、チャンスは広がります。キャリアアップの道は開けているので、当社で技術と人間性を磨いてぜひチャレンジしてほしいですね。

働きやすい職場で
若い人材を育てていく

長く働いていただけるように、職場環境の整備も進めています。フレックス制度や、退勤から翌日の出勤まで一定時間を確保する勤務間インターバル制度を導入し、仮に22時まで残業したら翌日の出勤は9時にするようにしています。また、厚生労働省が「子育てサポート企業」として認定する「くるみんマーク」の取得に向けて、男女ともに育児休暇を取りやすい環境づくりも行っています。さらに昨年は「ポイント制度」を取り入れました。これは、資格を取得した人、誕生日の人、笑顔の良かった人などにポイントを付与するシステムです。たまったポイントは旅行や家電などに交換でき、社員のモチベーションアップにつながっています。

当社は、「膜で街を未来を華やかに」というキャッチフレーズを胸に、創業50年の2025年に売上50億円達成を目標としています。膜構造物の可能性は無限大です。皆さんの豊かな想像力でその扉を開けてみてください。

求む! 君たちの若き力

- 明るい人
- 元気な人
- 素直な人

山口産業 株式会社

〒846-0031 佐賀県多久市多久町3555-120 TEL:0952-74-2525

●創業 1972年4月 ●従業員数 120名 ●売上高 35億5,100万円(2020年7月期) ●URL <https://membry.jp/>

優良企業ガイドは▶▶▶P078へ!